秋季全国大会を前にして

ようこそ、古都 奈良へ*

Welcome to the old capital of Japan “Nara”*

平田 好則**

by HIRATA Yoshinori**

1. はじめに

昨年の秋季全国大会（三重県伊勢市）の懇親会において、平成24年度秋季全国大会について、運営を担当する関西支部を代表し、全国大会初の開催地である奈良についてご紹介しましたが、その後、2回の実行委員会を行い、開催内容がほぼ固まりましたので、ご案内いたします。

まず、開催日程ですが、関連学協会の大会との重なりを避け、また、少し暑さがやわらく時期を選び、9月26～28日としました。会場には、近鉄奈良駅から徒歩5分の奈良県文化会館をメイン会場とし、奈良商工会議所、東大寺総合文化センターを使用することにしました。いずれの会場も奈良公園内にあり、そこここに現れる鹿との触れ合いを楽しむことができます。会場最寄りの駅である近鉄奈良駅までは、JR大阪駅、JR京都駅から近鉄、JRのいずれでも1時間程度でアクセスできます。また、近くには名阪国道や阪奈道路、京奈和自動車道が通っており、全国各地からの直通往来が自在です。

図1 奈良公園

(写真提供：一般財団法人奈良県ビジターズビューロー)

2. 特別講演「ハイテク量産化が支えた天平の薨」

近鉄奈良駅（近鉄奈良線終点）から、西（大阪方面）に向かって約3km離れたところに平城宮跡があります。和銅3年（710年）に藤原京から遷都し、74年間都として栄えた平城宮の遺跡です。平城宮跡は東西1.3km、南北1kmの広大な野原ですが、一昨年に「平城京遷都1300年」を迎えたのを機に、鮮やかな色彩を放つ大極殿が復

図2 平城宮跡に復元された大極殿

(写真提供：一般財団法人奈良県ビジターズビューロー)

図3 東大寺大仏

*原稿受付 平成24年5月6日

**正員 大阪大学大学院 Member, Graduate School of Eng., Osaka University

図4 猿沢池から望む興福寺
(写真提供：一般財団法人奈良県ビジターズビューロー)

元され、朱雀門とともにシンボルとなっています。この復元された大極殿や東大寺を舞台に、聖武天皇や吉備真備、阿部内親王（のちの孝謙天皇）、行基、藤原仲麻呂などが活躍した天平時代を描いたNHK古代史ドラマ「大仏開眼」をご覧になった方もおられると思います。会場周辺には、徒歩10～20分程度の距離に、東大寺をはじめ、春日大社、興福寺などの世界遺産があります。さらに、近鉄奈良駅から10分ほど電車に乗ると、西ノ京に着きますが、そこには鑑真が開いた唐招提寺、創建（730年）当時の姿を残す東塔と復元された西塔との対比が美しい薬師寺があります。

そこで、全国大会参加の皆様がこのような文化遺産に触れる機会に、ただ単に見るだけでなく、その由来や仕組みなどを予め知ることで、より一層印象深くなることを期待し、天平時代の特徴やその文化を支えてきた技術などを発掘調査により明らかにされてきた奈良文化財研究所の馬場 基氏に特別講演を賜ることにしました。

3. ワークショップ「最近の輸送機器における接合技術—学会誌特集記事を聴く—」

溶接接合技術は、さまざまなものづくり分野で部材を「つなぐ」方法として、幅広く工場や製作現場で利用されていますが、学会・業界をさらに振興させるためには、学術・技術・技能・ノウハウ・ビジネスなどに携わる人々による情報交換の場が必要です。このような趣旨のもと、各支部が主催する秋季全国大会でワークショップが導入されました。

そこで、本実行委員会では、最近の学会誌の特集記事が魅力的な記事を掲載していることに注目し、これを一方通行的な情報発信ではなく、ワークショップとして直接

図5 若草山から奈良市街を望む

著者からお話を伺い、質疑討論できる機会をつくることにしました。

4. 日中韓シンポジウム 2nd EAST-WJ

これまで日韓、韓中の二国間の学会同士でそれぞれ交流していたものを発展させ、日本・中国・韓国の学会（日本：溶接学会、中国：CWS、韓国：KWJS）が、溶接接合の科学・技術をさらに進化させるとともに、研究者・技術者の交流を促進するため、合同シンポジウム EAST-WJ(East Asian Symposium on Technology of Welding and Joining)を開催することになりました。

第1回目は、昨年6月に中国・上海において北京エッセンウェルディングショーに併せて開催されました。第2回は日本が主催することになっており、秋季全国大会とリンクさせ、9/27に東大寺総合文化センターを会場として、開催することにしました。今後の発展が目覚ましいアジア諸国との学術・技術分野の交流のあり方などを考える機会になればと思います。

5. おわりに

平成24年度秋季全国大会を開催するにあたり、その概要を紹介しましたが、もっとも大切なことは、溶接接合技術に関わる方々がたくさん集まり、職種や年齢を超えた交流ができる機会をつくることと考えています。豊かな自然と歴史をもつ奈良の地で、世界遺産に触れながら、会場の内外で、そして、昼夜にわたって忌憚のない議論が繰り広げられることを期待しています。ぜひとも古都奈良へお越しください。